

令和7年西条市二十歳の集い

丹原文化会館

二十歳の主張

青野 莉夢

本日は、故郷である西条市で二十歳の節目を迎えられましたこと、大変うれしく思います。また、このような盛大な式典を催していただき、市長をはじめ関係者の皆様から心より感謝申し上げます。

今日この日を迎えるまでの二十年間、多くの出会いと支えが、私にたくさんのことを教え、挑戦する勇気を与えてくれました。常に支え、多くのことに挑戦させてくれた家族や苦楽を共に過ごす中で自分にはないことを教えてくれた友人、温かく見守ってくださった地域の方々のおかげで、大きく成長することができました。出会った方々、そして西条というこの故郷にとっても感謝しています。

昨年、私は4か月間アメリカに留学をし、言語が違う場所で様々な国の人や様々なバックグラウンドを持った人と生活するという経験をしました。その中で、私は1歩踏み出す勇気と人との繋がり大切さについて学びました。初めの頃は、自信がなく、不安に押しつぶされそうなきが幾度となくありました。しかし、ほんの少しの行動や一言で周りの環境や人との繋がり大きく変化しました。日々の生活の中で、お互いの文化を話したりスポーツなどを通して自分から積極的にコミュニケーションを取るよう心がけ、交流を深めたりしました。自分が知ることのなかったことを知ることができ、また多くの人と関わることで、たくさんの学びがありました。

これから先、様々なチャンスや周りの環境を変える機会があると思います。今まで以上に行動に責任は伴いますが、そのような時に、慣れ親しんだ環境を手放す勇気を持ち、一歩踏み出すことで、自分自身を大きく成長させたいと思います。また、出会った人を大切に、何かしてもらい立場ではなく、周りに影響を与えられる人になれるよう努力していきます。

目まぐるしく変化するこの時代に、満足のいく成果を成し遂げることは困難なことです。一歩踏み出す勇気と人との出会いをこれからも大切に、常に前を向いて生きていきます。

最後になりましたが、本日はこのような発言の機会をいただき、誠にありがとうございます。以上を持ちまして、私の二十歳の主張とさせていただきます。